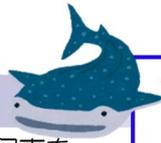


編集後記 スイミー

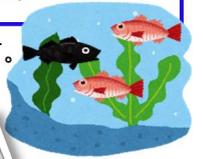


アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com

先日、お客様を訪問した際に、スタッフさんたちの顔写真をたくさん散りばめて、遠目で見るとその事業所の社屋に見えるというフォトモザイクアートが壁に飾ってありました。創立50周年という記念で作成されたそうです。仕事に携わってきたみんなで築いた歴史というメッセージが見て取れて、とても素敵でした。(^^)



レオ=レオニ
「スイミー」
好学社刊

図書館で借りて
読み直しました(^^)

そんなモザイクアートを見て思い出した話があります。

それは、レオ=レオニの絵本「スイミー」。σ(^^)

小学校2年生の国語の教科書（光村図書）にも長く掲載されている物語です。

「スイミー」は泳ぎの得意な小さくて真っ黒な魚。

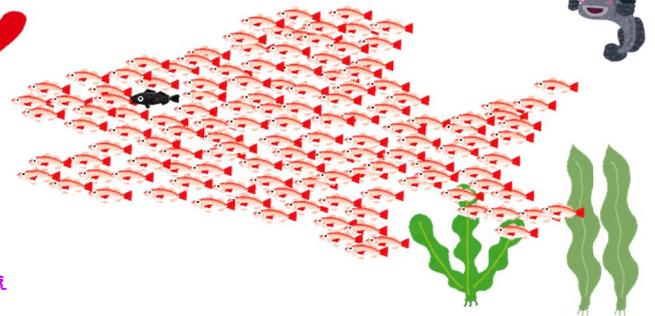
仲間を大きなマグロに食べられて独りぼっちになったスイミーは、体の色は違うものの自分によく似た小さな赤い魚の群れを岩陰で見つけました。

でも、赤い魚たちは大きな魚を恐れて岩陰から出ません。

スイミーは、みんなと一緒に泳いで海で一番大きい魚のふりをしようと提案しました。

離ればなれにならないこと。

みんな持ち場を守ること。



自分だけ黒いスイミーは、赤い大きな魚の目に見える役割を担いました。

そして、見事大きな魚を追い出したのです。



「集合天才 (Collective Genius)」という言葉があります。

「一人ひとりでは天才ではなくとも、思いを共有し力を結集してシナジーを創り出すことでチーム全体として天才以上の力を発揮する」という考え方です。

「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である」というトーマス・エジソンの言葉がありますが、そのエジソンが設立したゼネラル・エレクトリック（略称: GE）は、その「集合天才」の考え方のもと、有用な発明を数多く世に生み出しました。「集合天才」はGoogleを成功に導いた考え方としても有名です。「スイミー」の物語も、根底にあるのは「集合天才」のように感じます。

でんきモリモリ!



「集合天才」の考え方は、大企業に比べて体力のない中小・零細企業が、不確実性の時代を生き抜く鍵のように思います。天才とされた、かのスティーブ・ジョブズでさえ、「私の理想はピートルズだ。偉大な仕事は

1人ではできない」と言っています。(NHK「映像の世紀バタフライエフェクト」6月12日放送)

Stay hungry,
Stay foolish



経営者の方とお話すると、決まって「人手不足」の話になることが多い昨今。

これから少子化・人口減少が進み、労働力人口の減少の加速化が見込まれる日本においては、人手不足は簡単に解決できる問題ではありません。

この時代、中小企業が優秀な天才社員の入社を期待するのは、宝くじを当てにするのと同じかもしれません。

今いる社員をベースにしての「集合天才」を前面に出して、組織の活性化を考えてはいかがでしょうか。

いくら何でも
万博グッズ
買い過ぎヨ!

再来年(2025年)の大阪・関西万博の入場料が、原則大人1人7500円とすることが発表されました。

高いという声もありますが、僕たちにとっては地元の万博。できるだけ多くの人に集まってもらって世界に「大阪」・「関西」の存在を知らしめるような、大きな、大きな催しになってほしいと思います。

そういえば、大阪・関西万博の「目玉」って何になるのでしょうかね。

スイミーのような魅力的な「目玉」、楽しみにしています。(^^)

大目玉は
食わない
ようにネ



アヴニール労務事務所
未来は変えられる! **avenir**